13
1960
3

拾部冊之内

花房氏

門 イ 13
號 1060
巻 3

曽我物語巻第三目録

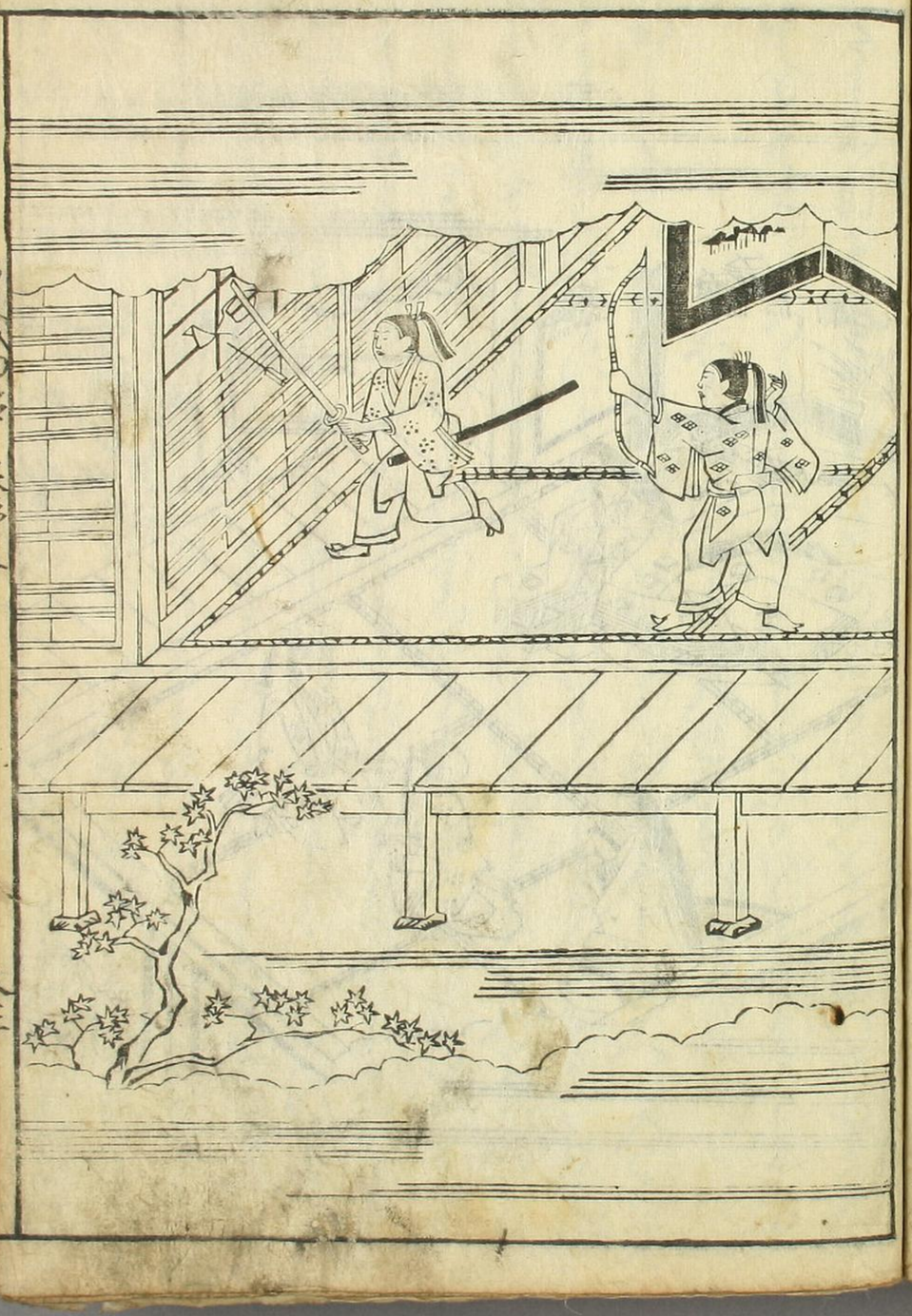
一 九月十三夜名ある月ふ一まんぷとこまうぷまれ
いぞくぢく乃すとぷげきし事
二 きやうごいとぷく乃せいをし事
三 がんごきやうごいめしの所つるひよゆくす
四 まくぷげきしす
五 まけのぶきやうごいとつまてが後くしゆくす
六 きやうごいとかぢりしひ申さ候す
七 ゆ井乃みごきまんぴきごいをし事
八 人ぐ君へまいりてごひ申さるくす
九 まくけ山乃ちげごひ申さ候す
十 ちんかぢやうしがすそぎやうごいかりす

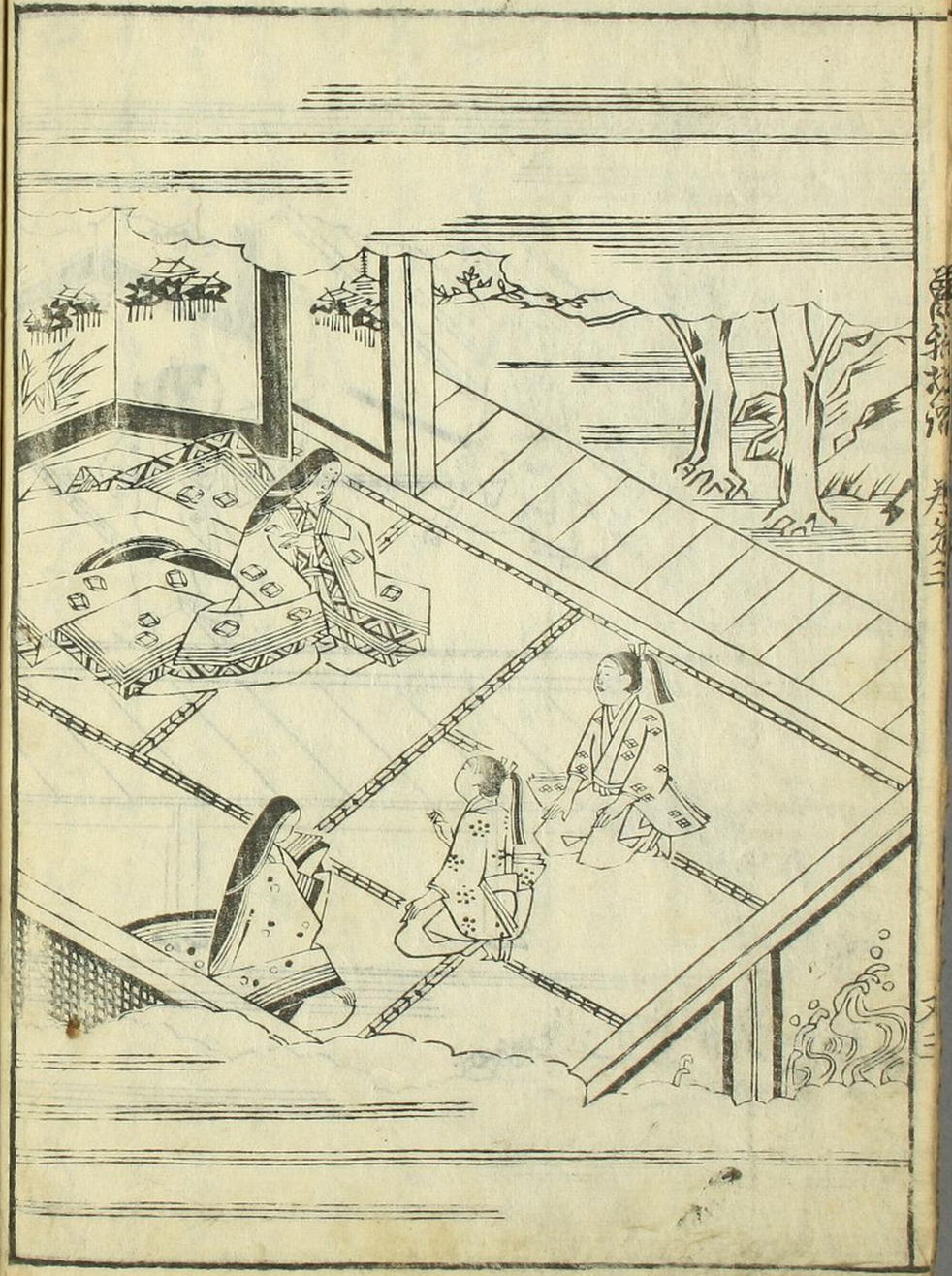
十一　そがへつきてくりこゝろ

曽我物語巻第三

一　九月十三夜。名ある月ふ。一まんぞこそう。庭すゝ
いぞくちのすゝ成なげさし事

そもしくいげ乃らふ。わるざまし乃ぷりとうそぐどうさ忘りん
乃ぜうぞけつひふうこまてぷかたげ乃ら印がる二人なるも。
わふとい。一まんといひて五けふなりおとくとぞこそうといひ
てこけふぞなりふ。ちくふとくまてのらぷづまをたく
ふつきまくちくぞがれ太郎がもとまそぞぐちかりやう
くせいだんを御ゆどいちくがすとぞまもんぜしてなぎさ
かるこそむざんなまこんのそうまいわふをしりわふがかさ
まばおとくをしりこひしさのこにわけくまてぞりる
ハ月日がりえんれけくふしてがひくぷよくまもるくひ
まもなくぷまてぷくちふなりぢくとうちかんぷ忘りん

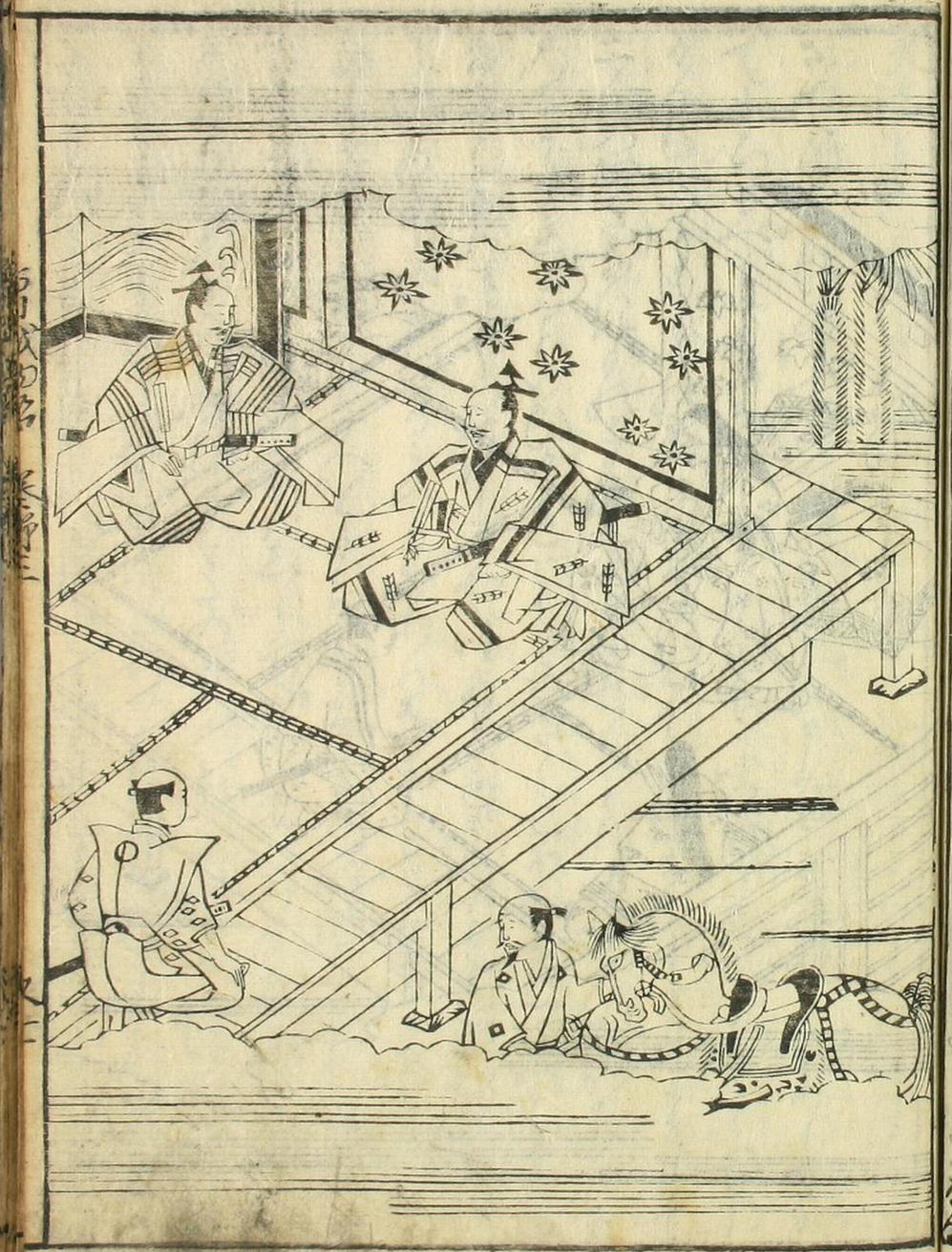


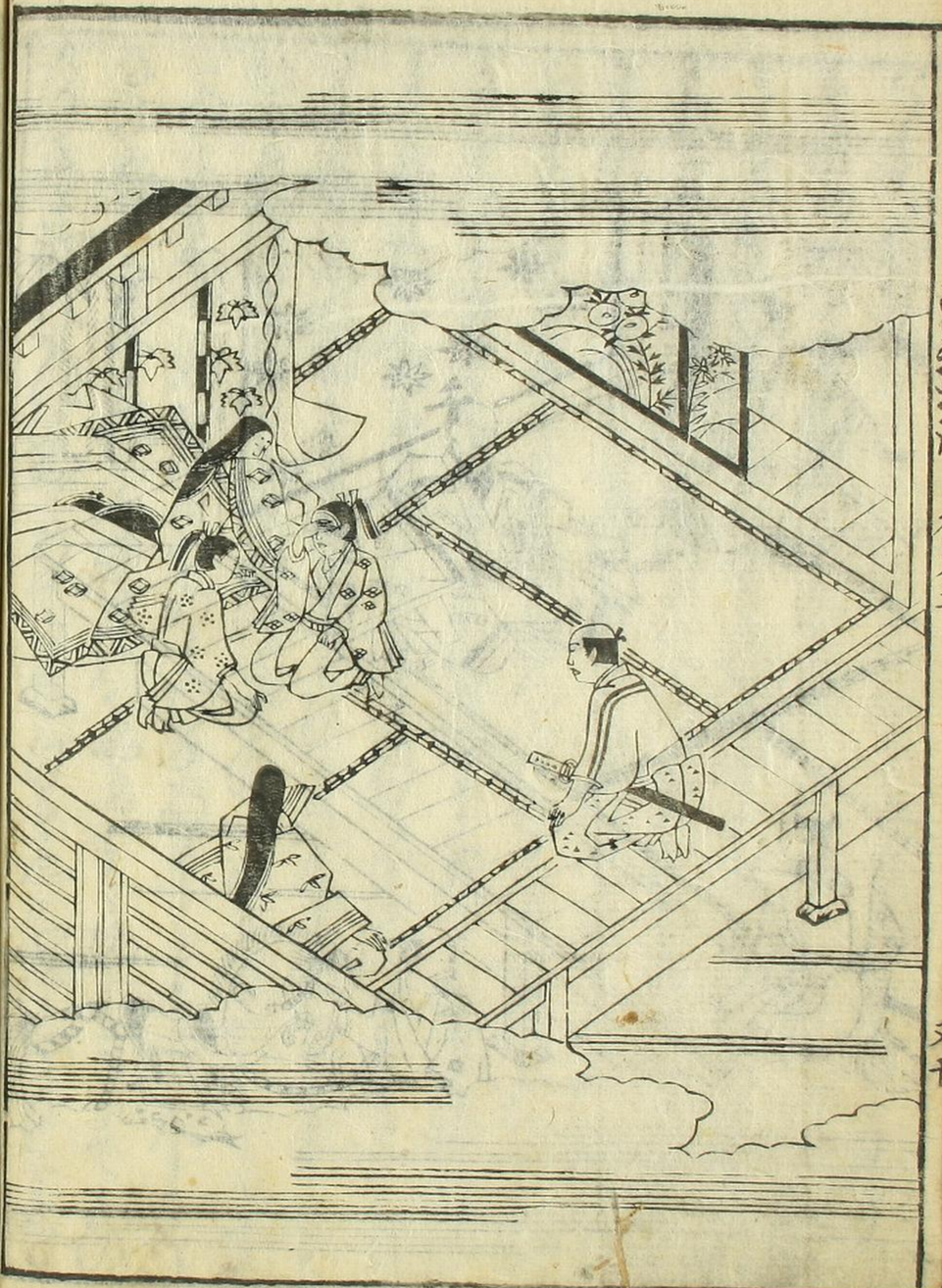


さしあげぞいなる末ざらとゝりなとし二ハ三ハよきろ
てもそくぶらくる面なこざし人ふかりてぞみてゝ後
二　さやうぶいとも乃せいも後す
かくてぬれといこれとものびゑくおそろしきぶくろ乃くらく
てゝなのちいかにとしひゝれいかりにもうへまぞくらゝ後
もくさしてぶさにおどろさかしとひとまどころふよびゝれ
いたくさうゐなゝぶさ後ふもやうド乃ゆづまさるとしらる
まふ後さしんくてぞやうじとばぞんじらぐよそれまん
ぶらやぶりて以とぬれとぶとくしくしくゆしいひゝれいたる
みぶぬなじしぞやうじ乃すそいなにぞとよなんぢくた
ゝにさけどれいしがおかぢぶとうといひしんハさこれまる君
ところしそまつる乃こなしぐぶむかんぞうゝいたりしう
よりてぎしれそまつりしうんいなんぢくもそのまごなれば

とうのさつしひ丸一とうふぎんひとゆあげるまいぶのくふ乃
ぢうんぐどうさゑもんまけつゆがしこ両けてゆるるれおりせ
乃どくゆかいまげまりぎさうしこうちうゑんくぐ両こしろふ
両ぢうれ作ひぐれまくふをきそおさなくいんれ丸ぎ忍乃作てき
とぷるべきもれまそ一二人くんとゆるれ作まんふありるさふ
らひ丸ぎがこれうんやしんとぷれ見わりせぐぶしとふぐさしぐるれ
ありりり君きこしめられて作きまくうりぎよりともそ
まくゆぷふもれぞとけぐぶゆありるまいぎもけつゆうけ為
りてぜんゆんきしまき両ひしせるひしいとう乃入ぐうが両
ぐぷけこけまてぢくぷまげふおくれぎちくれ丸ぎ即がも
とれやしるひおさぬぜんぢんのちけてきことやるりぐるさ
もふも又やまんあるもれまそひとゆあげるりるまいぶ君きこ
しめしぶしぐるりまけのぶいぜんぶんやまれもれよ忍ひ

作るれぎ忍のてれとやしるひおくらんぶしぐさよぶそれかぢ
けしめせとてめさ為しぶんぐがけまぎ忍作まんふかしこ両りるれぶ
ゆそれそがんくぐりぶとうへぐうが両ご丸とかくしおくましきこ
ゆぶそれぐそくしてまのるぶしぎしいぐれおよがぐぞれまそ
かうぐるとまゆよとおりせるぎけまうけまりぶまんと両
りるちぶそぐそがんぞくぐりるぎけのぶやうこぢくるり
まうばましやとそくぶがどれやまし両まぎ君乃作つるひり。
がけまぎまのりるりとぶませるればまけのぶ何ごとるりんと。
ぎひよしぐ両作のぞぶづしといひるれがけまぎもまぶくぎ
こんしそぐんぶうんよりの作つるひとぐりいひてぶんがくるれの
るまぐぶさうるくいひもいぐさぶやしありて作るゆしまきるる
ぬおりせとかうふりてぶまゆんぐこうぐれくまぐやう
いくのよし君きこしめしてぶよりともがまぎ忍のうれるりぶそれ





そしまびなさゐたり。爾とやもふにひ乃あるとれいぞがを
ましまさねがとかとけとしみさそまつりなきていくぞ。
うしみていなさぷしたづとかるとそぜめてのすとはおがれり

又　もけのぶさやうごいをつまてが爾くへゆきすす
さそもまけのぶいがちりつりつとりひうちつまてぞ爾とりや
ひるといなけまどもやまのくが爾くへとそつきにかまぞと
よひいまうれふけぬしんとそがけを忌がやうさにかぐめれ
ささりぞけのぶい二人のみとをちかくゐそぞこよひづりと思
ふふもぶごりおしくぞたつまかるなどりのよりをわけやと
くぐ爾なさのさとりれ月もたひのなぐごにかきこうり。
とりとおなじくなさあかれぬれうちとそむざんなまぞさう
てんまぐんさざたりんぼたよへまいりかまぼとけのぶまるこの
ふかとそくりてがまつりかるいかうふさのきそまれ。

いかけをよれやうにかまなさまぢうどうこ人ありとおがしめ
くと爾とにたひのこ後ありさ爾おりまとそがんぐをふびん
におがしてがうやみなしどいなふどとうれがどにのまふべき。
人のおやうぶいやとにあしひたぶみたふみちにまままふれげ
にとりりとおがしてがけを忌をぶどもあまさりちさる。
さしく人のうへともぞんじらびとそたれびのなぐごとなが
しかりぶれおよぶとうはうへあるべうしびいんやとくお
りひうへとそいぞかれいだのりしぞおりひかな

六　きやうごいをがちりしひかさ後くす
そのちがちりしぼまへにしこまりかまぼ元ぼうんじてさ
のふは爾つしざりかるぞぞけのぶいいざうやおよびかるかいる
でるおしまりかるさゆふなこがけを忌がりしまぞぐそし
てとひつるとよふけいあひごおくるをまちりていたてが

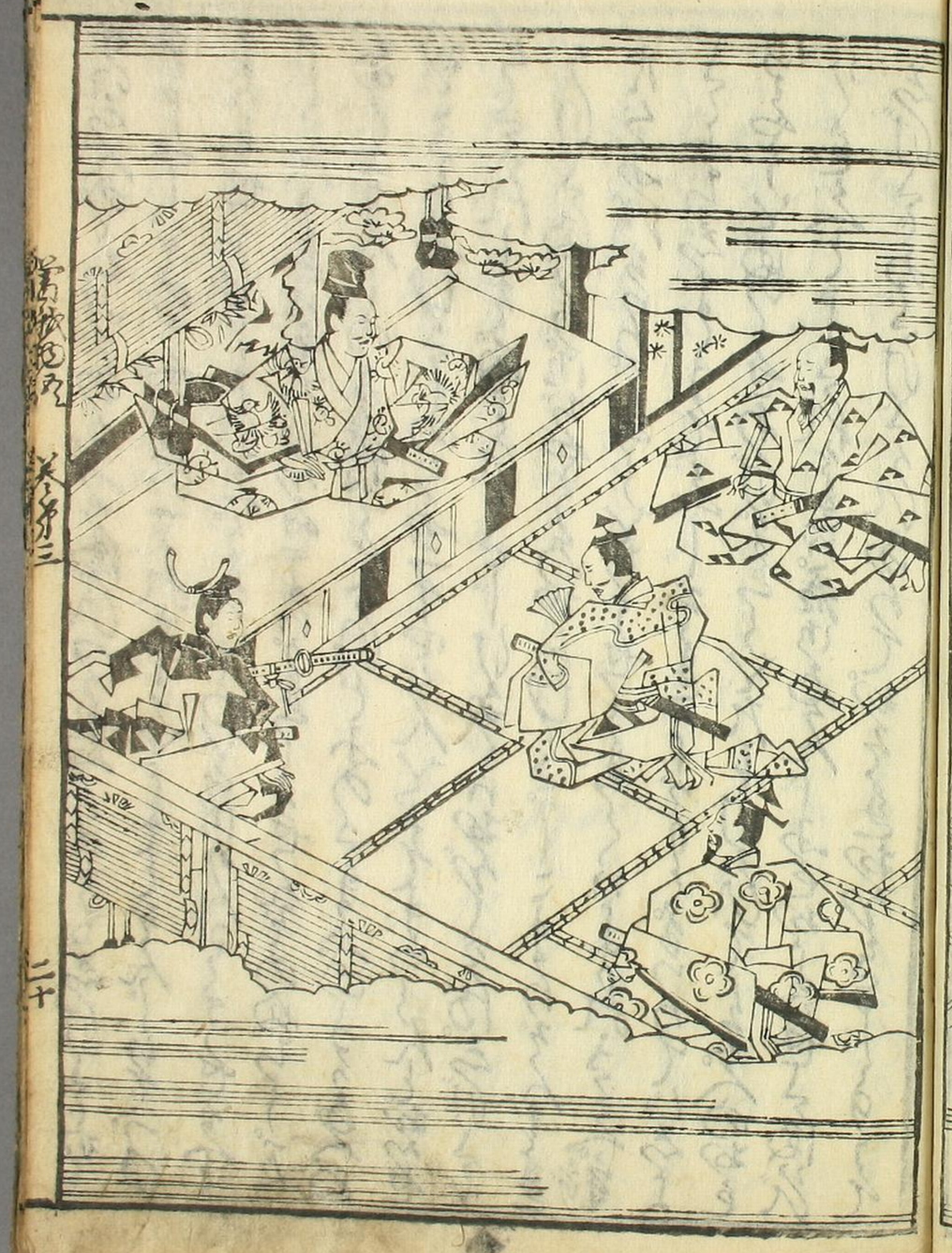
七

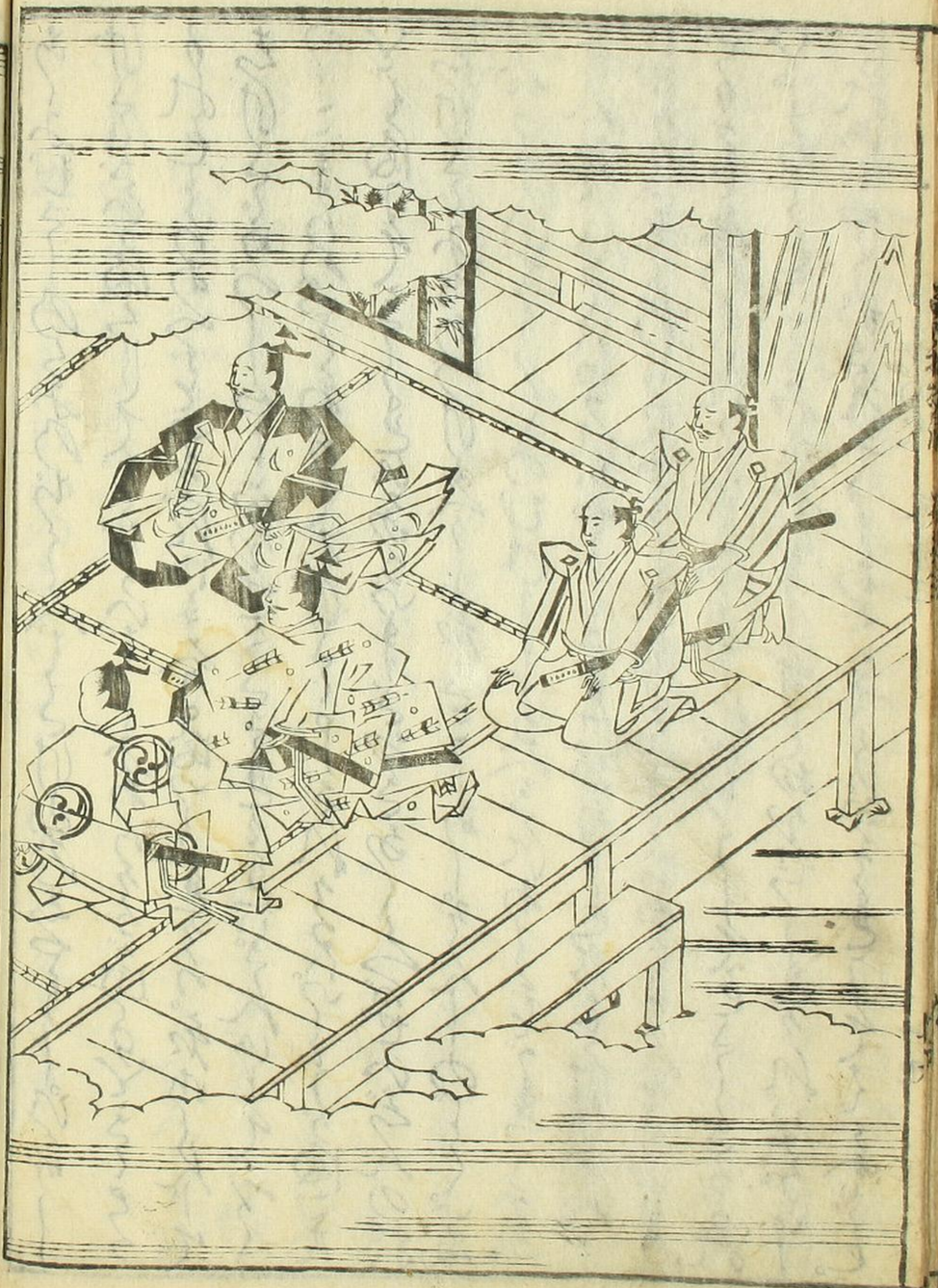
かしてかげまゐ。やくまうかにありてまどもれまへにさうらふ。
さこしそうつりくへとひかれば。ぢまけのぶかまつといでさくせ。
ゆゐれま。角ゐだいぐしかゐ。今にまじめぬ。角くし中の
ことくしさまかまつしがさうゆくとうんとそ。ぐんぜんよい
ちとなれ。ぐんぐさがやうこを。ま角のおもそかどちとかしてゆ
くゆどれ。ひつじのあ田こなとちくいのちをさまれなりま
かりまでにまれがましさて二人のもれたなとしにかりけ
さまでいさりともぐんぐやかしかんとぐれみしんをつさ
まてかまつしにひかひ口かるいまくがかるれ。ぢひおくすい
なれかとちぐさぐ仕ごとを。ぢんてしそおかせしまくへさじし
さいごれ。ぢとしへひしごとく。ぢひさりてみまんにもゆいざり
しとゞかりぢかうりくへまこまういかれとちへ。おなじゆん。
い角一さび。見さそまつりてとゞひをあつどなこにふむせび。

ぬくなげくいろみくかり。一まんこれと見てまくのおかせしま
しすまもれまふかおやおかぢのまごぞとぢひさうべし。
か角へてまくやめれとがすぢひいざれ。ゐかしば。さやうなまぢ。
みまんのんいぞくるぞさぐ一まちにぢひされとしへまひし
すぞとよ。へりしそみまといさめかまばまこまうこれとば
まやまちにかんかなとしのごひ。あざましひなこごと人うり
見せざりかりさせんとしまぬもれりなしぞがれ。左部これ
いろと見て。今いんやまくてまれがいふかりびんのちつま
うちいしひんしづかにかいしやしぐれなんぢしくさ
けまじめさうすふいあしみたゆこやのいふにむまるくもれ
いのちよりを。名とばおしむもれぞとよまつうもんぐんじやう
れちにかみいうづめどもなれいくをなにのこせていふとばかみ
てさくおれぬしん。さいごみぐるしくいみしみたんとそぐさそめと

ゑんぼなげいさと見えてまつるふとしまゐしまてあがるなり。
しげしくまちなへ一ぢしやてうんといひ申まゐ御太さはよ
ろこびてしげしくとれをうつしかり酒とれがげとれさしさう
てやさまんふいかなひつなしとくされりしくぞ御りひかな。
がげとれぼまへふかしとまりかまゐ若ぼしんじてかぢいしこそ。
まいなしびそせうがなまゐさんひそがれ太郎がやうしのまれ。
さゞ酒もまゐてちうせしまひおいまそれがしふぼあづけを
やえかしがげとれがやしぢやうさしめしいまゐ御なさとお
まのくしひひれとやとやしかれば若さこしめしてげさよう
がんごがやつまれおづけぢとなんぢうしひなうしびとおかせ
くごさまかればちうしおよびぼまへを酒かりさちふかりつさ
よまごのさ忘りんよしりぼまへふかしまりがけとれがおやま
やてかないさ酒とろとよしりかさまてやわぐうでさがれ

ういおそれもくなかしぢとんぐとぞんとたもくるなしひさ
のこしそこへよしりぼたすふまかりこひすぐびくなりと
いへれぼさてはさねがされぢやうしそぼいのちふかもりそま
つりぼしいでさせまひひねぞのちうせひしやうくぞがれ
まどりぼおづりおさらぐしやうぜんのぼそんとぞんじい
なししやされかれば若さこしめされてがれかれども乃すい。
きしでかなふなうしびとおかせくごされかまゐよしりかさ
祿てやされかるいりとよりつこかろくしてぼいぢつせしな
なさとやあづかりていぼそんとやがしぢうぐいのりのとさ
酒いりてこそおさそとそひくぼそんまそこへよしりがごれ
大じなふすかこれまちかんとさしさりてやされさりしがば。
若を酒ことのなんぐいおがしめしかるがしりぼちわんふおよび。
ぼぐんのちよまうなふとうそひさやでさしかれれぼすよお



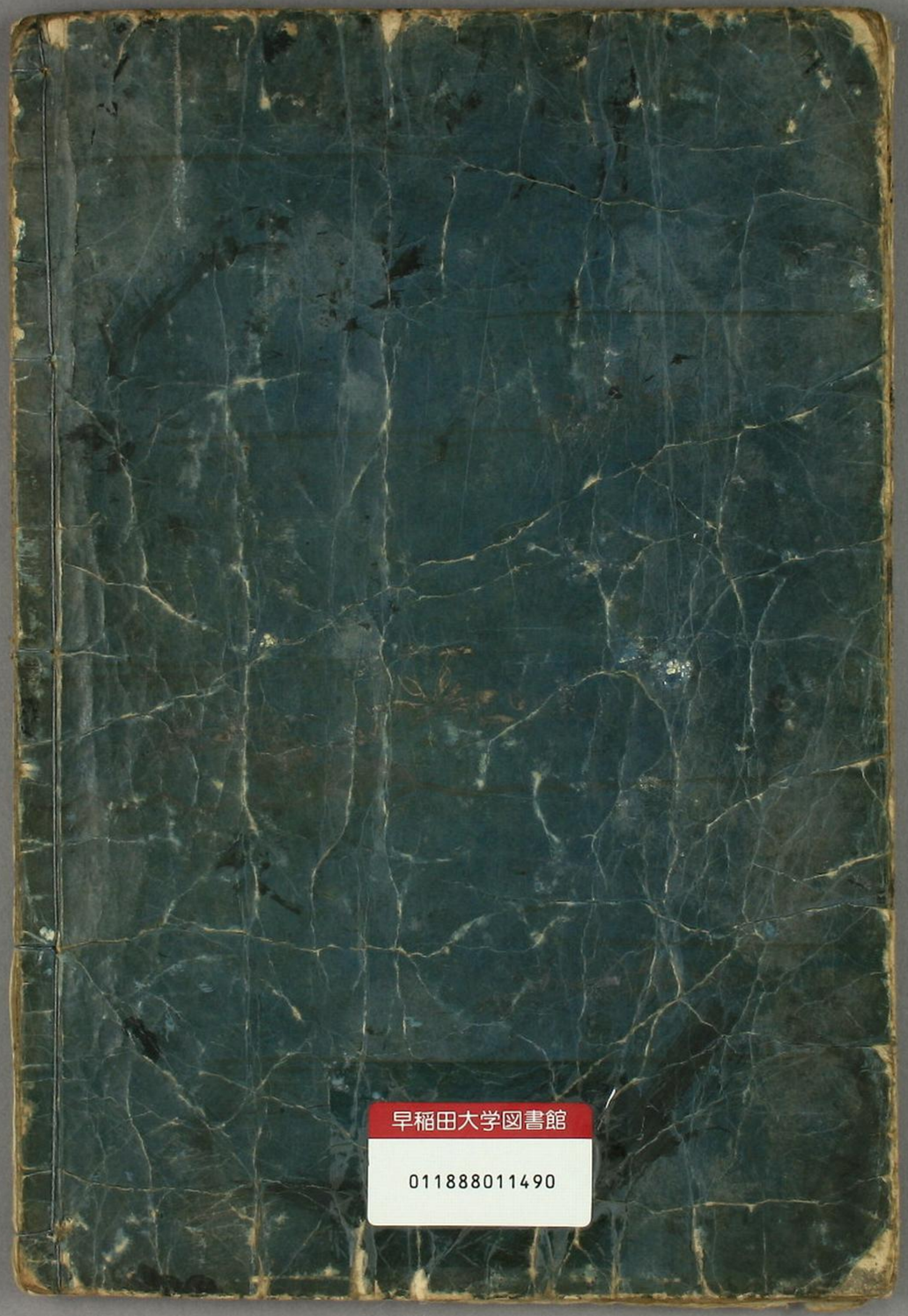


びあがらぎんぴかろびしゐつけのわくぎやうぐらりとう
おがりめんぶのがうふもおそまぎとぎうがうふもちらが
いぶくらんとやうぐ免ぎよくとうがひぎそんふつくらるといへ
どもぎよこ志風なるさらぎそんこまぎゆるさぐ海ふよりてぎ
めのもぜいさうぎ田んぎふしてぎつらごとものぎらなん
ぶぎまつぎいまぞもぎつぞかさしゆるこさぎぎしんつもよそ
むかでぎよこ所まなるすさんらびいぐらぬい天ぎんぎやう
ようとぴらしゐるべしとぎ所されきまぶ所まうこさしゆして。
ちうとさうくうんじぎがとかくいましむるすぎよ志風なる
ぎさうやぎそのぎうそいらびぎぐ所ぎひまさしせるへと往
んぶ所てれ乃もぬちうのつくらぢんじ所ぎいわしびぎり
なぐらぐらけなくんぶぜいぎんのかどぶわづけんしぎにじ
けなくも。君乃所をんふかうらぎいぐもふそなふなすぎよ

乃人よもぐまさらぎれいぎげさぐがそせうなふすもち
なふなぎしとぎつぐぞんぎろとうよぶ所ゆるさまなくいぎの
ちつさてもむやくなりぶまへすてぐびとめさまんぞまま
かなりびぜんぐんを所せうらんんぎげさぐぎがつか風け
ゐもんべしぎれそのもまそいらびともぎそまりしぶまへすて。
うせぬとさくらぐぎがいとい所らじぎすんをせあつまらぶ
ぬちんのなげさを所わげんぎしぎうばそのそせうん。
さぐめそぐういわりぬなぎしぎわらんふおひていぶよこくの
まづらひとそぜんじんぶ君さこしめしぎやうのぎいい
ちりていぶりともさらぐなぎさいわしびぎてんのせうらん
ぶ所をまうせんべしとそぶなんじもなりりうも

十　ちやうしがすうそぎやうぐいたもうなす
ぎげさぐかしこまりておそまぎんぎろもぐいすそんん。

十一　きやうじゃぞかへりゐらりまろうびしゝす
そのくちまつげくぐいなりさまとまびてぬさまれ人をのす。
やうしくふ門あづりひぬぞやくまどもかーつまられ。
もしけのぐよはかへりゐんぞぐれんりしあくちひかふぬしぬ
ぐんざんふつりくくんどもぬぜんよはあひぐこしぴひとくる
うまいぞぐれたゝ命ぜひとまれまんかふくかーこゐりぞん
ぢるとぐりり門されかるぞそこんのまどものしまとぞれ
ふそぞぐへかへりゐるんれうちたくんかるとあしぞくぐ
しゐくしよふれこまとゞれしてぞぐあくぐりあるみん。
んくかへりすてつげくまばたくとそしかそよろこぶ申
りざりあしぞまんがれと門さしといふふうぐうでいしやう
よそしるしひひしまれくらとちぞ君くらのぬかへりとい
ちんとそおまりふありそくしまくらのぐへりまふぞやと


早稲田大学図書館
011888011490